

谷川温泉



谷川温泉のお話

遠い昔、谷川の岸边には夜になると瑠璃色に光るところがありました。村人は不思議に思い、静かに近寄ってみると、輝くばかりの美しい姫が独り清流に身を清めていました。村人は「これぞ富士浅間大菩薩の化身である」と恐れおののきながらもさらに近寄ると、光も姫もたちまち消えてしまい、その岩間から滾々と温泉が湧き出てきました。菩薩様のお授けと大いに喜び感謝してお湯を浴びると、疲れも病も立ちどころに癒えました。江戸時代には、沼田城主真田伊賀守の姫光貞院様が湯治をされ、病を平癒されたので此処に薬師堂を建立されました。その堂は今日も「栃の木薬師堂」として谷川温泉を見守っています。以来、谷川温泉は歴史に残る名湯として、文人墨客・登山家をはじめ多くの人々に親しまれて来ました。



至 水上駅→

谷川温泉入口

至 水上 IC ↓

恋沢ガーデン花畑
展望台・トイレ

太宰治文学碑

展望台
観光案内板